

## ○ 令和3年度当初予算総括表

区 分		令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	比 較	伸 率
会 計		A	B	(A-B) C	(C÷B)%
一 般 会 計		190億1,600万円	179億9,600万円	10億2,000万円	5.7%
特 別 会 計		49億2,240万円	51億3,810万円	△2億1,570万円	△ 4.2%
	国 保	24億9,000万円	25億9,000万円	△1億0,000万円	△ 3.9%
	下 水 道	5億5,880万円	6億8,780万円	△1億2,900万円	△ 18.8%
	介護サービス事業	4億9,270万円	4億9,970万円	△700万円	△ 1.4%
	介 護 保 険	11億8,350万円	11億7,810万円	540万円	0.5%
	後期高齢者医療	1億9,740万円	1億8,250万円	1,490万円	8.2%
	計	239億3,840万円	231億3,410万円	8億0,430万円	3.5%
病 院 会 計	収 益 的 収 入	22億0,993万円	21億3,197万円	7,796万円	3.7%
	収 益 的 支 出	24億8,484万円	24億2,410万円	6,074万円	2.5%
	収 益	△2億7,491万円	△2億9,213万円	1,722万円	△ 5.9%
	資 本 的 収 入	1億6,635万円	5億6,358万円	△3億9,723万円	△ 70.5%
	資 本 的 支 出	2億5,628万円	6億5,241万円	△3億9,613万円	△ 60.7%
	収 益	△8,993万円	△8,883万円	△110万円	1.2%
水 道 会 計	収 益 的 収 入	10億6,593万円	10億4,156万円	2,437万円	2.3%
	収 益 的 支 出	8億5,758万円	8億1,857万円	3,901万円	4.8%
	収 益	2億0,835万円	2億2,299万円	△1,464万円	△ 6.6%
	資 本 的 収 入	1億8,585万円	1億9,425万円	△840万円	△ 4.3%
	資 本 的 支 出	6億0,734万円	5億8,313万円	2,421万円	4.2%
	収 益	△4億2,149万円	△3億8,888万円	△3,261万円	8.4%
	計	42億0,604万円	44億7,821万円	△2億7,217万円	△ 6.1%
合 計		281億4,444万円	276億1,231万円	5億3,213万円	1.9%

(注 1) 病院会計と水道会計の計は収益的支出と資本的支出の合計です。

## ○ 他会計繰出金の状況

会計名	令和3年度	令和2年度	比較	伸率	
国保	1億1,831万円	1億2,282万円	△451万円	△ 3.7%	
下水道	2億6,312万円	2億8,141万円	△1,829万円	△ 6.5%	
介護サービス事業	3億0,670万円	3億0,610万円	60万円	0.2%	
介護保険	1億6,728万円	1億6,660万円	68万円	0.4%	
後期高齢者医療	5,678万円	5,626万円	52万円	0.9%	
病院	負担金	6億5,881万円	6億8,719万円	△2,838万円	△ 4.1%
	出資金	9,455万円	9,208万円	247万円	2.7%
	補助金	9,664万円	7,073万円	2,591万円	36.6%
水道	負担金	14万円	18万円	△4万円	△ 22.2%
消防事務組合	6億5,901万円	6億7,365万円	△1,464万円	△ 2.2%	
葬斎組合	1,671万円	2,145万円	△474万円	△ 22.1%	
廃棄物処理広域連合	2億1,983万円	2億4,442万円	△2,459万円	△ 10.1%	
計	26億5,788万円	27億2,289万円	△6,501万円	△ 2.4%	

## ○ 基金繰入金の状況

基金名	繰入金額
財政調整基金	7億2,900万円
減債基金	2億2,763万円
小林清吉賞基金	6万円
生涯学習振興基金	2億2,270万円
スポーツ振興基金	720万円
地域福祉基金	1,100万円
中山間ふるさと水と土保全基金	53万円
標津線代替輸送確保基金	3,987万円
清流保全基金	130万円
上杉貞賞基金	3万円
特定防衛施設周辺整備調整交付金基金	3,200万円
水沼徳一郎基金	30万円
ふるさと応援基金	1,510万円
合計	12億8,672万円

## ○ 一般会計 当初予算の概要について

令和3年度一般会計当初予算は190億1,600万円で、前年度当初予算と比較して10億2,000万円(5.7%)増となりました。また、光ファイバ整備事業等を令和2年度9月補正予算で計上し繰り越しており、それらの事業をあわせた予算は230億円を超えるものとなっています。

歳入予算の依存財源では、国庫支出金、町債等で約9億1,000万円の増、地方交付税等で約4億5,000万円の減により、4億6,000万円(3.6%)の増。自主財源では、分担金及び負担金等で約12億6,000万円の増、諸収入等で約7億100万円の減により、5億5,900万円(10.6%)の増となりました。

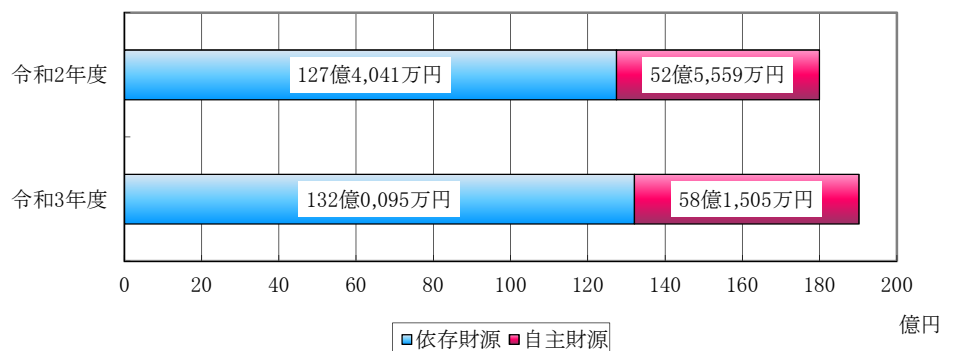
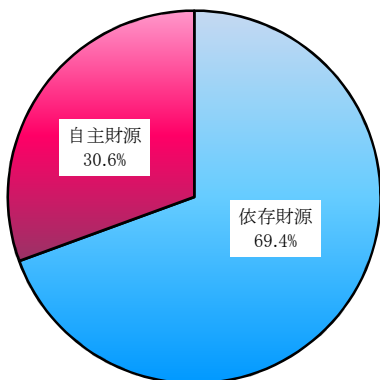
歳出予算では、生涯学習センター整備事業で5億4,800万円の増、国営かんがい排水事業の償還金が12億2,890万円の増などが主な要因となり、10億2,000万円(5.7%)の増額となりました。

令和3年度は、第7次別海町総合計画の推進を基本としつつ、止めてはならない施策の着実な推進及びポストコロナを見据えた「魅力ある別海町」を発信する施策の構築、そして生涯学習センター「みなくる」の完成という3つの視点に重きをおいた編成となっています。

財源の多くを国や道に依存している本町にとっては、地方財政対策の影響を大きく受けることになり、今後も更に厳しい財政運営を強いられる状況ですが、「最小の経費で最大の効果」をあげられるよう効率的・効果的な財政運営と行政サービスの質的向上に努めながら、町財政の健全化に取り組んでいきます。

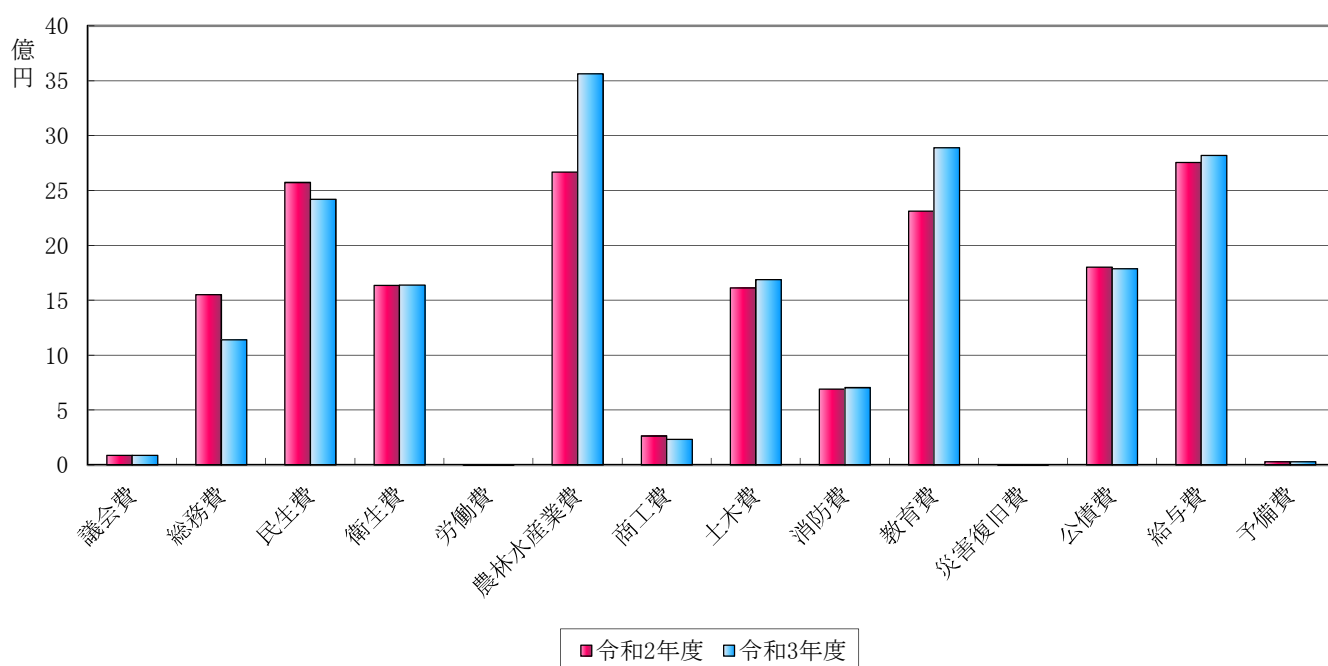
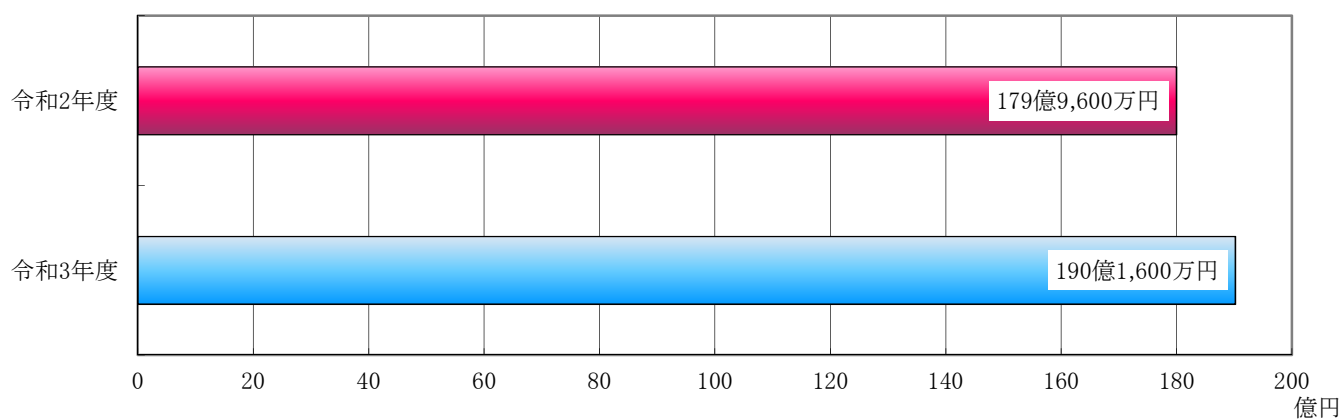
### 【 歳 入 】

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	構 成 比		伸 率
				3年度	2年度	
地方交付税	64億4,000万円	67億2,000万円	△2億8,000万円	33.9%	37.3%	△ 4.2%
国庫支出金	27億4,394万円	23億0,878万円	4億3,516万円	14.4%	12.8%	18.8%
道支出金	15億2,311万円	16億5,552万円	△1億3,241万円	8.0%	9.2%	△ 8.0%
町債	16億2,120万円	12億0,030万円	4億2,090万円	8.5%	6.7%	35.1%
地方譲与税	3億6,723万円	3億8,923万円	△2,200万円	1.9%	2.2%	△ 5.7%
利子割交付金	220万円	200万円	20万円	0.0%	0.0%	10.0%
配当割交付金	690万円	700万円	△10万円	0.0%	0.0%	△ 1.4%
株式等譲渡所得割交付金	820万円	500万円	320万円	0.0%	0.0%	64.0%
法人事業税交付金	3,100万円	1,700万円	1,400万円	0.2%	0.1%	82.4%
地方消費税交付金	3億6,900万円	3億4,200万円	2,700万円	1.9%	1.9%	7.9%
環境性能割交付金	1,900万円	3,700万円	△1,800万円	0.1%	0.2%	△ 48.6%
国有提供施設等所在市町村助成交付金	4,697万円	4,082万円	615万円	0.3%	0.2%	15.1%
地方特例交付金	1,900万円	1,300万円	600万円	0.1%	0.1%	46.2%
交通安全対策特別交付金	320万円	276万円	44万円	0.0%	0.0%	15.9%
<b>依存財源</b>	<b>132億0,095万円</b>	<b>127億4,041万円</b>	<b>4億6,054万円</b>	<b>69.4%</b>	<b>70.8%</b>	<b>3.6%</b>
町税	24億4,600万円	25億4,261万円	△9,661万円	12.9%	14.1%	△ 3.8%
分担金及び負担金	11億7,237万円	2億3,823万円	9億3,414万円	6.2%	1.3%	392.1%
使用料及び手数料	2億8,813万円	2億5,271万円	3,542万円	1.5%	1.4%	14.0%
財産収入	4,514万円	5,898万円	△1,384万円	0.2%	0.3%	△ 23.5%
寄附金	1億5,010万円	1億0,010万円	5,000万円	0.8%	0.6%	50.0%
繰入金	12億8,672万円	10億4,555万円	2億4,117万円	6.8%	5.8%	23.1%
繰越金	1,000万円	1,000万円	0万円	0.1%	0.1%	0.0%
諸収入	4億1,659万円	10億0,741万円	△5億9,082万円	2.2%	5.6%	△ 58.6%
<b>自主財源</b>	<b>58億1,505万円</b>	<b>52億5,559万円</b>	<b>5億5,946万円</b>	<b>30.6%</b>	<b>29.2%</b>	<b>10.6%</b>
<b>合 計</b>	<b>190億1,600万円</b>	<b>179億9,600万円</b>	<b>10億2,000万円</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>5.7%</b>



【 歳 出 】

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	構 成 比		伸 率
				3年度	2年度	
議 会 費	8,711万円	8,911万円	△200万円	0.5%	0.5%	△ 2.2%
総 務 費	11億4,211万円	15億5,141万円	△4億0,930万円	6.0%	8.6%	△ 26.4%
民 生 費	24億2,224万円	25億7,439万円	△1億5,215万円	12.7%	14.3%	△ 5.9%
衛 生 費	16億3,927万円	16億3,727万円	200万円	8.6%	9.1%	0.1%
労 働 費	93万円	92万円	1万円	0.0%	0.0%	1.1%
農 林 水 産 業 費	35億6,529万円	26億6,963万円	8億9,566万円	18.8%	14.8%	33.5%
商 工 費	2億3,368万円	2億6,460万円	△3,092万円	1.2%	1.5%	△ 11.7%
土 木 費	16億8,883万円	16億1,465万円	7,418万円	8.9%	9.0%	4.6%
消 防 費	7億0,470万円	6億9,112万円	1,358万円	3.7%	3.8%	2.0%
教 育 費	28億9,118万円	23億1,235万円	5億7,883万円	15.2%	12.8%	25.0%
災 害 復 旧 費	16万円	16万円	0万円	0.0%	0.0%	0.0%
公 債 費	17億8,962万円	18億0,379万円	△1,417万円	9.4%	10.0%	△ 0.8%
給 与 費	28億2,088万円	27億5,660万円	6,428万円	14.8%	15.3%	2.3%
予 備 費	3,000万円	3,000万円	0万円	0.2%	0.2%	0.0%
合 計	190億1,600万円	179億9,600万円	10億2,000万円	100.0%	100.0%	5.7%



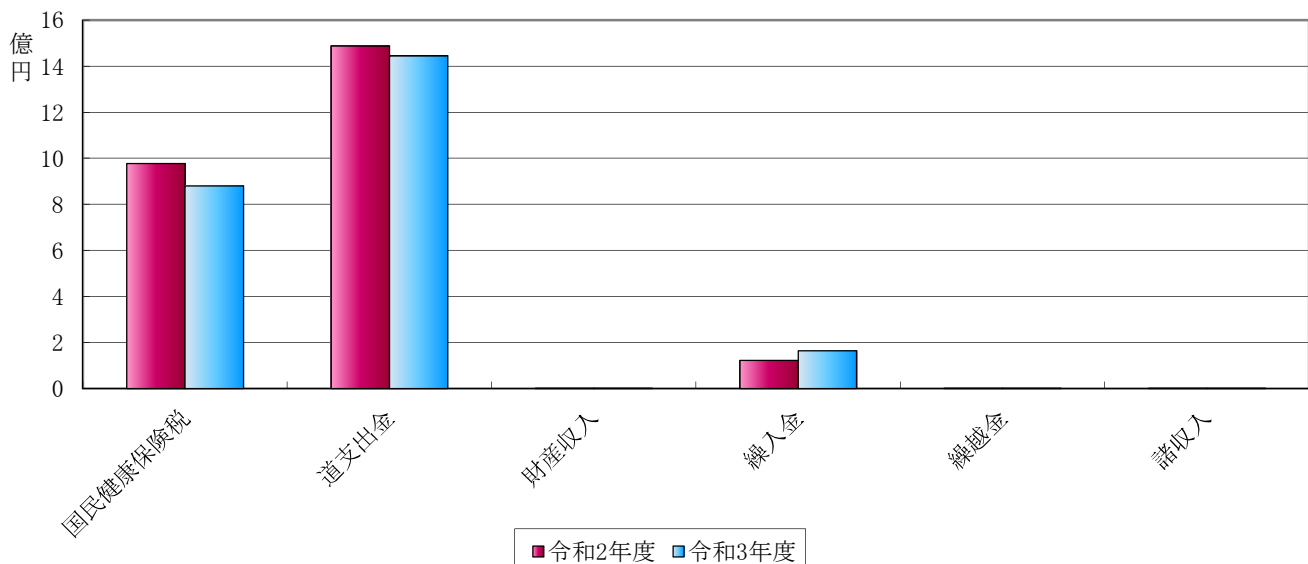
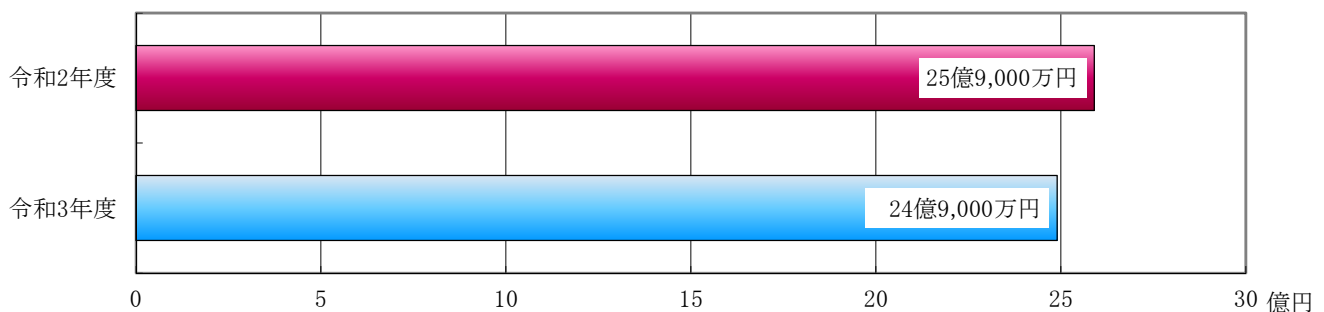
## ○ 国民健康保険特別会計 当初予算の概要について

令和3年度国民健康保険特別会計当初予算は24億9,000万円で、前年度当初予算と比較して1億円(4.0%)の減となっています。歳入予算の柱である国民健康保険税については、令和2年10月末時点の世帯数、被保険者数及び令和元年中における所得の状況をもとに前年度当初比で9,785万円の減と試算しています。また、平成30年度からの制度改正により、保険給付に必要な費用は全額北海道から交付を受けており、道支出金として計上しています。

歳出予算については、約50%を占める保険給付費は推計により計上し、次いで構成比が高い国民健康保険事業費納付金は、納付先である北海道の算定に基づき計上しています。また、令和2年度では当初予算の時点で、国民健康保険特別会計全体で1,500万円の剰余金が発生していたことから、当該1,500万円について基金に積立てるものとして予算計上していましたが、令和3年度では歳入不足により財政調整基金からの繰入を4,549万円計上しています。なお、保険税算出のための基礎となる前年度分の所得が確定していないことなどから、これまでと同様に当初予算については補正を前提とした予算として編成しています。

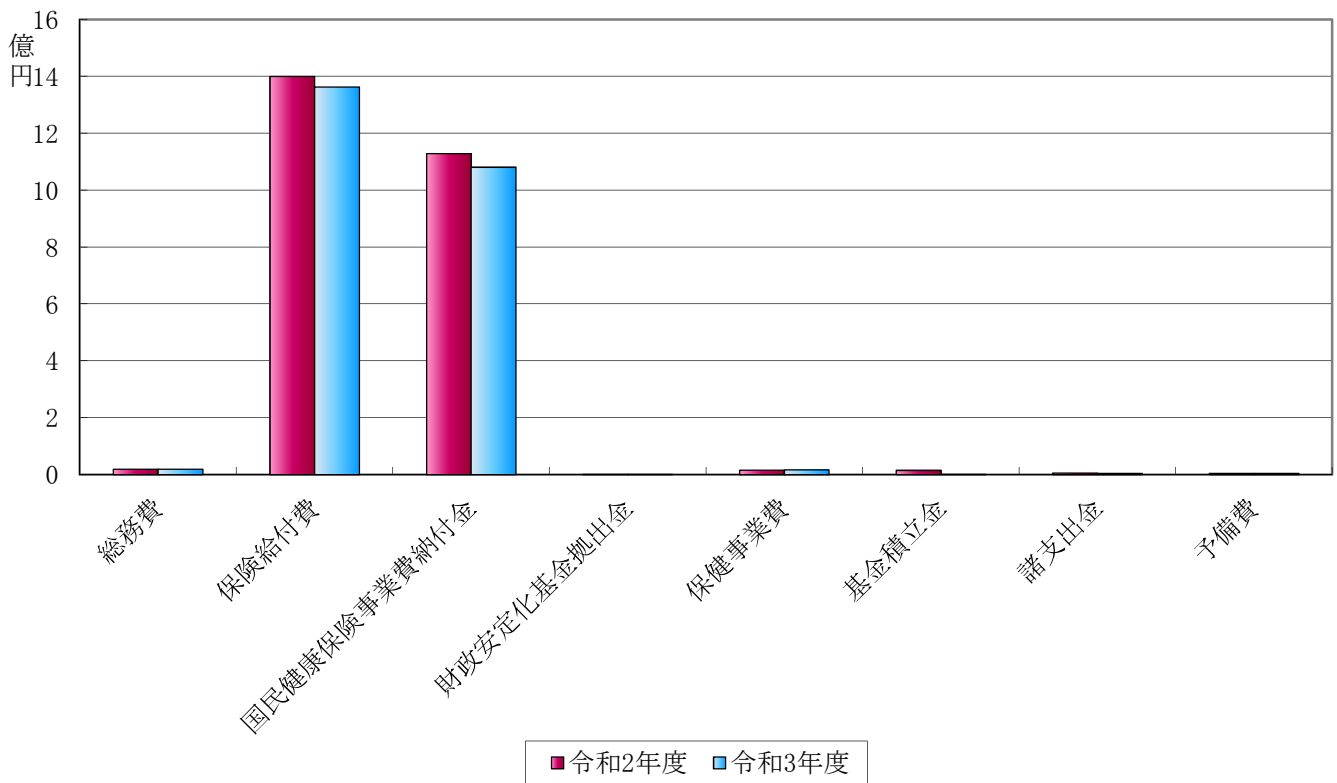
### 【 歳 入 】

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	構 成 比		伸 率
				3年度	2年度	
国民健康保険税	8億8,006万円	9億7,791万円	△9,785万円	35.3%	37.8%	△ 11.1%
道支出金	14億4,547万円	14億8,848万円	△4,301万円	58.1%	57.5%	△ 3.0%
財産収入	12万円	23万円	△11万円	0.0%	0.0%	△ 91.7%
繰入金	1億6,379万円	1億2,282万円	4,097万円	6.6%	4.7%	25.0%
繰越金	1万円	1万円	0万円	0.0%	0.0%	0.0%
諸収入	55万円	55万円	0万円	0.0%	0.0%	0.0%
合 計	24億9,000万円	25億9,000万円	△1億0,000万円	100.0%	100.0%	△ 4.0%



【 歳 出 】

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	構 成 比		伸 率
				3年度	2年度	
総 務 費	1,904万円	1,914万円	△10万円	0.8%	0.7%	△ 0.5%
保 険 給 付 費	13億6,300万円	14億0,010万円	△3,710万円	54.7%	54.1%	△ 2.7%
国民健康保険事業費納付金	10億8,087万円	11億2,871万円	△4,784万円	43.4%	43.6%	△ 4.4%
財政安定化基金拠出金	1万円	1万円	0万円	0.0%	0.0%	0.0%
保 健 事 業 費	1,705万円	1,614万円	91万円	0.7%	0.6%	5.3%
基 金 積 立 金	12万円	1,522万円	△1,510万円	0.0%	0.6%	△ 12,583.3%
諸 支 出 金	491万円	568万円	△77万円	0.2%	0.2%	△ 15.7%
予 備 費	500万円	500万円	0万円	0.2%	0.2%	0.0%
合 計	24億9,000万円	25億9,000万円	△10,000万円	100.0%	100.0%	△ 4.0%



## ○ 下水道事業特別会計 当初予算の概要について

令和3年度下水道事業特別会計当初予算は、5億5,880万円で、前年度当初予算と比較して1億2,900万円の減となりました。

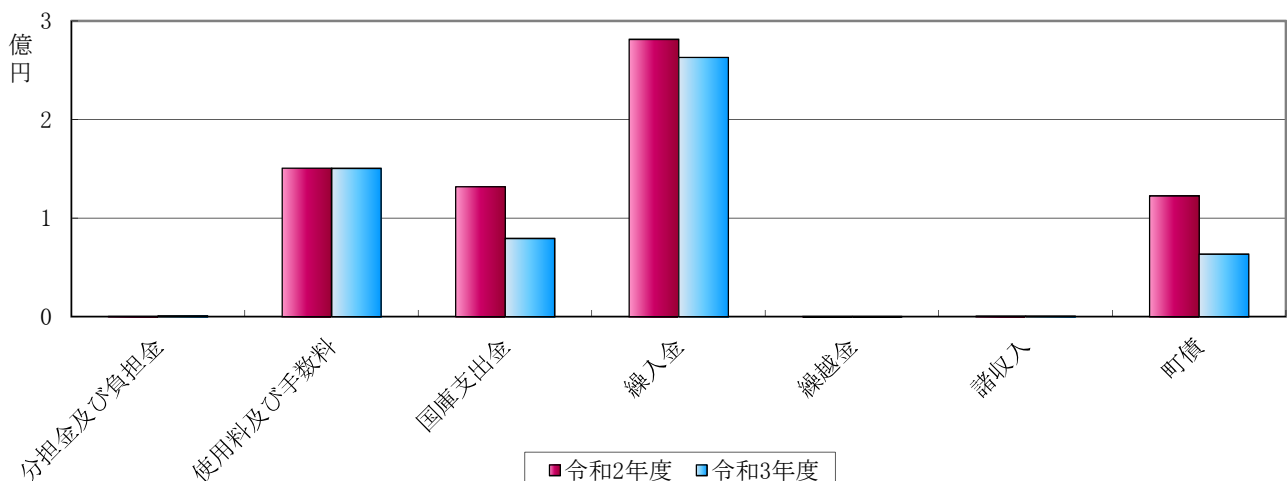
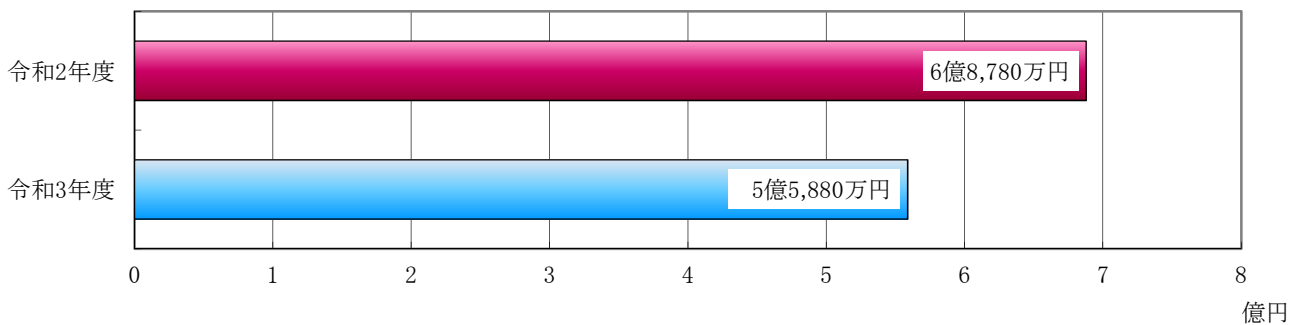
第7次別海町総合計画に基づき、各下水処理施設の老朽化に伴う改築・更新工事を引き続き実施し、本年度の工事では、別海・走古丹終末処理場と農業集落排水施設(中春別)、漁業集落排水施設(尾岱沼)の改築更新を行います。

また、委託業務では、終末処理場の耐震診断と耐水化計画の作成、令和4年度から公営企業会計へ移行するため、固定資産台帳の異動入力等を実施します。

下水道普及期の借入分の償還を終える時期ですが、今後も更新工事により新たな起債借入による償還が続き、一般会計からの繰入金も横ばいの状態であるため、引き続き事業費の平準化と徹底した経費節減により健全な下水道事業の運営に努めます。

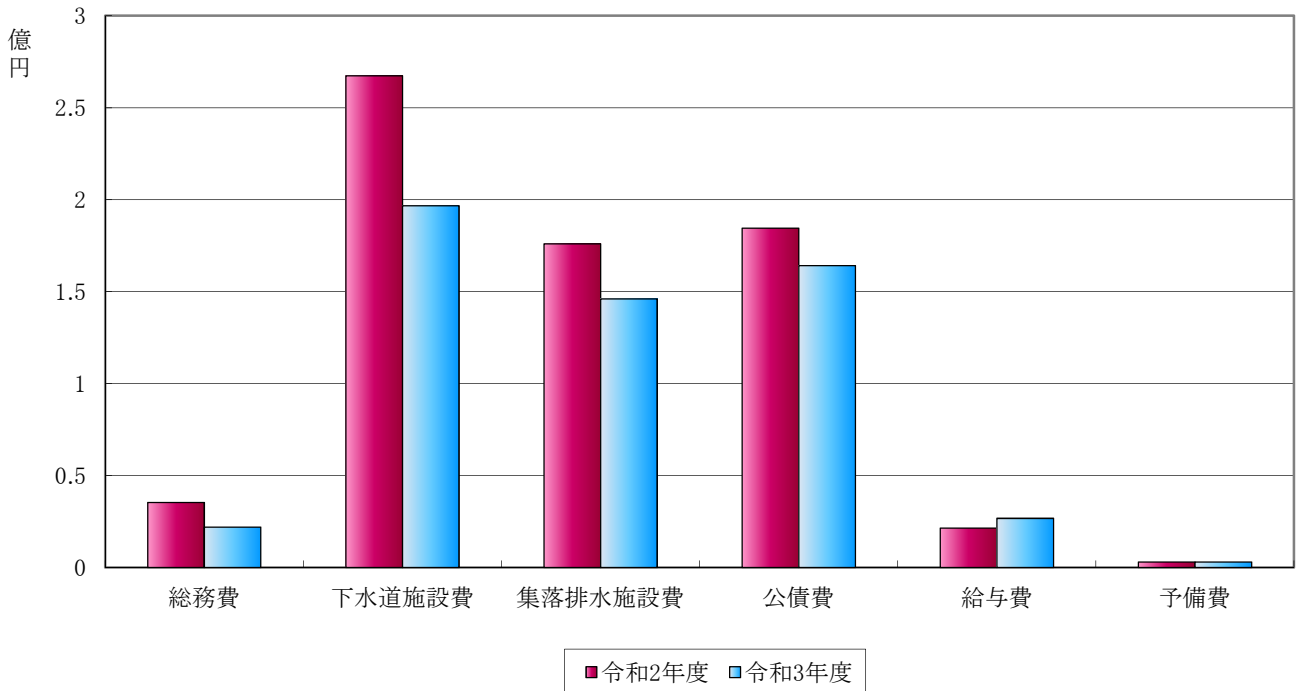
### 【 歳 入 】

区 分	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	比 較	構 成 比		伸 率
				3 年 度	2 年 度	
分 担 金 及 び 負 担 金	124万円	44万円	80万円	0.2%	0.1%	64.5%
使 用 料 及 び 手 数 料	1億5,062万円	1億5,069万円	△7万円	27.0%	21.9%	△ 0.0%
国 庫 支 出 金	7,951万円	1億3,185万円	△5,234万円	14.2%	19.2%	△ 65.8%
繰 入 金	2億6,312万円	2億8,141万円	△1,829万円	47.1%	40.9%	△ 7.0%
繰 越 金	1万円	1万円	0万円	0.0%	0.0%	0.0%
諸 収 入	70万円	70万円	0万円	0.1%	0.1%	0.0%
町 債	6,360万円	1億2,270万円	△5,910万円	11.4%	17.8%	△ 92.9%
合 計	5億5,880万円	6億8,780万円	△1億2,900万円	100.0%	100.0%	△ 23.1%



【 歳 出 】

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	構 成 比		伸 率
				3年度	2年度	
総 務 費	2,196万円	3,537万円	△1,341万円	3.9%	5.2%	△ 61.1%
下 水 道 施 設 費	1億9,670万円	2億6,745万円	△7,075万円	35.2%	38.9%	△ 36.0%
集 落 排 水 施 設 費	1億4,609万円	1億7,603万円	△2,994万円	26.2%	25.6%	△ 20.5%
公 債 費	1億6,426万円	1億8,453万円	△2,027万円	29.4%	26.8%	△ 12.3%
給 与 費	2,679万円	2,142万円	537万円	4.8%	3.1%	20.0%
予 備 費	300万円	300万円	0万円	0.5%	0.4%	0.0%
合 計	5億5,880万円	6億8,780万円	△1億2,900万円	100.0%	100.0%	△ 23.1%





## ○ 介護サービス事業特別会計 当初予算の概要について

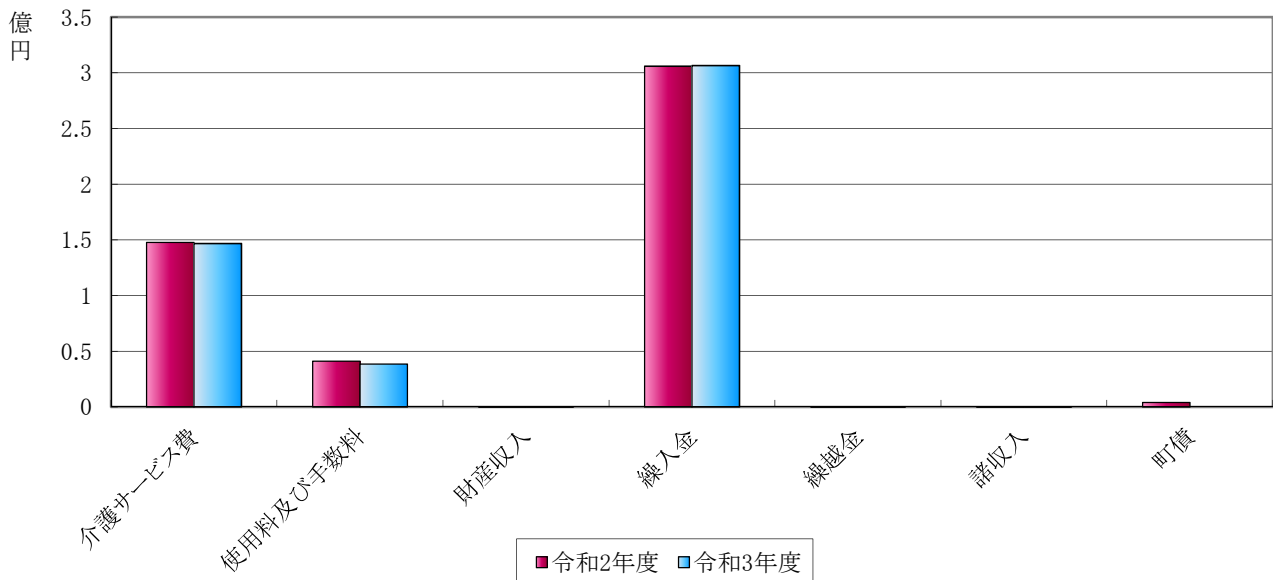
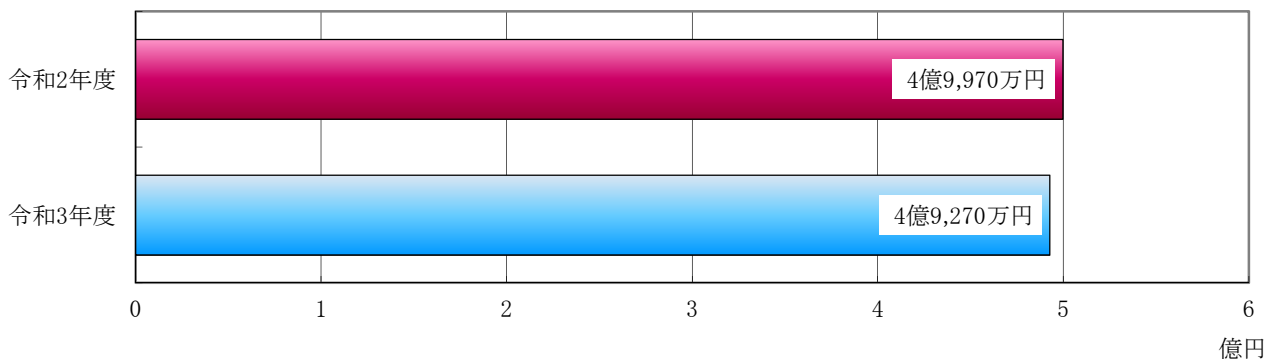
介護サービス事業会計では、「老人保健施設すこやか」、「訪問看護ステーションやまびこ」の2施設で、「施設サービス」と「居宅サービス」の2つのサービスを提供しています。

令和3年度当初予算を前年度と比較すると、700万円(1.4%)減の4億9,270万円となっています。予算減額の理由は、令和2年度に大きな施設整備事業が完了したことが主なもので、歳入では事業費に充当する町債の減、歳出では施設整備事業費と併せて経常的経費が減となっています。

本年度も利用者の尊厳を守り、より一層の安全に配慮するとともに、利用者にさらに満足していただけるような質の高いサービス提供に努めます。

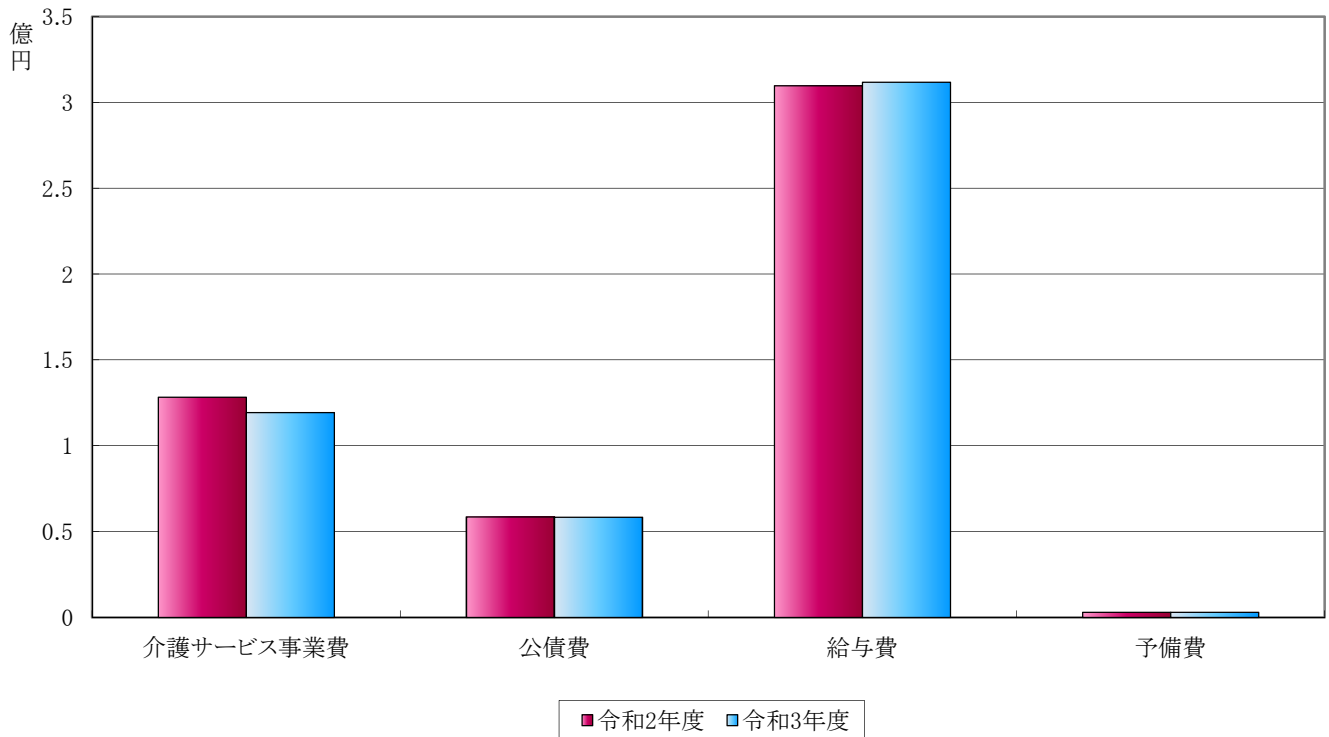
### 【 歳 入 】

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	構 成 比		伸 率
				3年度	2年度	
介護サービス費	1億4,678万円	1億4,770万円	△92万円	29.8%	29.6%	△ 0.6%
使用料及び手数料	3,861万円	4,113万円	△252万円	7.8%	8.2%	△ 6.5%
財産収入	36万円	36万円	0万円	0.1%	0.1%	0.0%
繰入金	3億0,670万円	3億0,610万円	60万円	62.3%	61.2%	0.2%
繰越金	1万円	1万円	0万円	0.0%	0.0%	0.0%
諸収入	24万円	30万円	△6万円	0.0%	0.1%	△ 25.0%
町債	0万円	410万円	△410万円	0.0%	0.8%	皆減
合 計	4億9,270万円	4億9,970万円	△700万円	100.0%	100.0%	△ 1.4%



【 歳 出 】

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	構 成 比		伸 率
				3年度	2年度	
介護サービス事業費	1億1,943万円	1億2,837万円	△894万円	24.2%	25.7%	△ 7.5%
公 債 費	5,847万円	5,853万円	△6万円	11.9%	11.7%	△ 0.1%
給 与 費	3億1,180万円	3億0,980万円	200万円	63.3%	62.0%	0.6%
予 備 費	300万円	300万円	0万円	0.6%	0.6%	0.0%
合 計	4億9,270万円	4億9,970万円	△700万円	100.0%	100.0%	△ 1.4%



## ○ 介護保険特別会計 当初予算の概要について

令和3年度の介護保険特別会計当初予算は11億8,350万円で、前年度当初予算と比較して540万円(0.5%)増となりました。

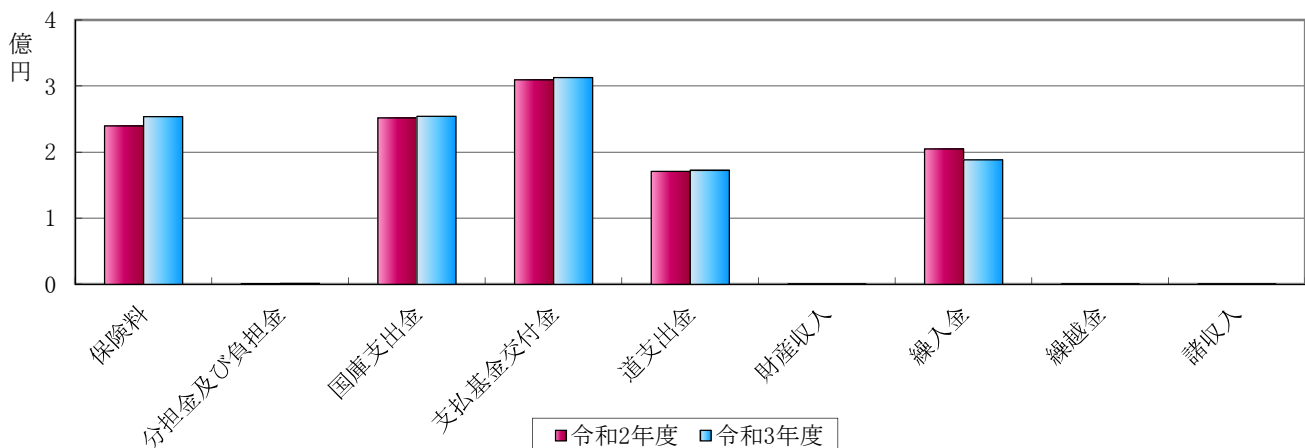
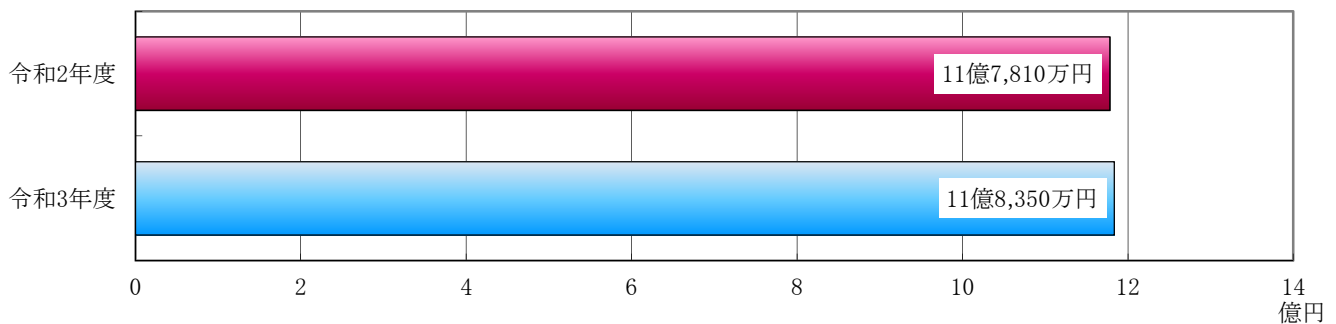
歳入歳出ともに必要なサービス見込み量を過去3年間のサービス実績から算定していますが、第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)の初年度となる本年から介護保険料の基準月額を4,900円から5,100円に改正しています。

歳出の約93%を占める保険給付費の財源は、約5割が国、道及び町の公費で、約3割が第2号被保険者(40歳以上65歳未満の医療保険加入者)の保険料、約2割が第1号被保険者(65歳以上の方)の保険料で賄われています。

団塊の世代が75歳となる令和7年度を見据え、今後も増え続けることが予想される高齢者に必要なサービスを提供できるよう、第7期計画から引き続き介護予防事業の継続と東圏域の施設整備を目指した取組を進めます。

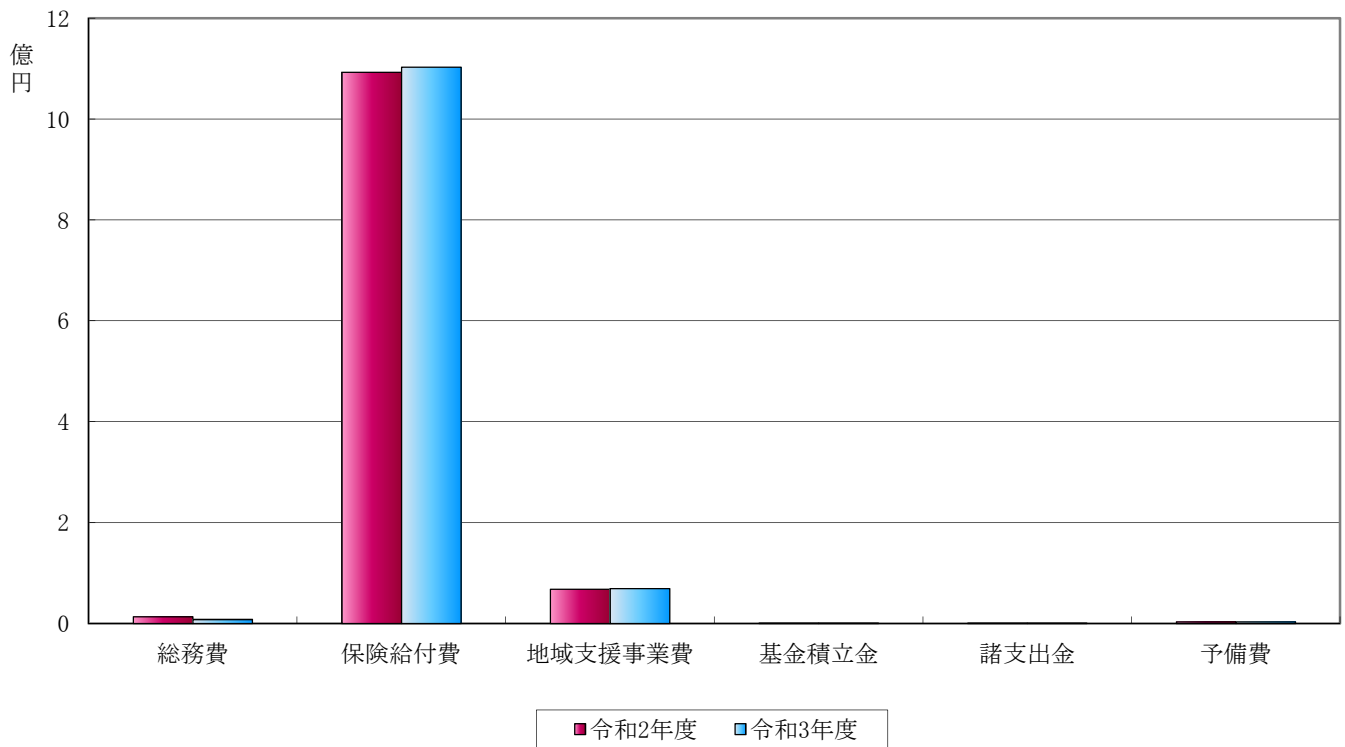
### 【 歳 入 】

区 分	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	比 較	構 成 比		伸 率
				3 年 度	2 年 度	
保 險 料	2億5,374万円	2億3,980万円	1,394万円	21.4%	20.3%	5.5%
分 担 金 及 び 負 担 金	120万円	101万円	19万円	0.1%	0.1%	15.8%
国 庫 支 出 金	2億5,436万円	2億5,186万円	250万円	21.5%	21.4%	1.0%
支 払 基 金 交 付 金	3億1,281万円	3億0,972万円	309万円	26.4%	26.3%	1.0%
道 支 出 金	1億7,268万円	1億7,085万円	183万円	14.6%	14.5%	1.1%
財 産 収 入	1万円	2万円	△1万円	0.0%	0.0%	△ 100.0%
繰 入 金	1億8,855万円	2億0,469万円	△1,614万円	16.0%	17.4%	△ 8.6%
繰 越 金	1万円	1万円	0万円	0.0%	0.0%	0.0%
諸 収 入	14万円	14万円	0万円	0.0%	0.0%	0.0%
合 計	11億8,350万円	11億7,810万円	540万円	100.0%	100.0%	0.5%



【 歳 出 】

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	構 成 比		伸 率
				3年度	2年度	
総 務 費	802万円	1,356万円	△554万円	0.7%	1.2%	△ 69.1%
保 険 給 付 費	11億0,310万円	10億9,330万円	980万円	93.2%	92.7%	0.9%
地 域 支 援 事 業 費	6,897万円	6,782万円	115万円	5.8%	5.8%	1.7%
基 金 積 立 金	1万円	2万円	△1万円	0.0%	0.0%	△ 100.0%
諸 支 出 金	40万円	40万円	0万円	0.0%	0.0%	0.0%
予 備 費	300万円	300万円	0万円	0.3%	0.3%	0.0%
合 計	11億8,350万円	11億7,810万円	540万円	100.0%	100.0%	0.5%



## ○ 後期高齢者医療特別会計 当初予算の概要について

後期高齢者医療制度は75歳以上の方と65歳から74歳で一定の障がいのある方を対象とした医療制度で、北海道のすべての市町村が加入している「北海道後期高齢者医療広域連合」が運営しています。

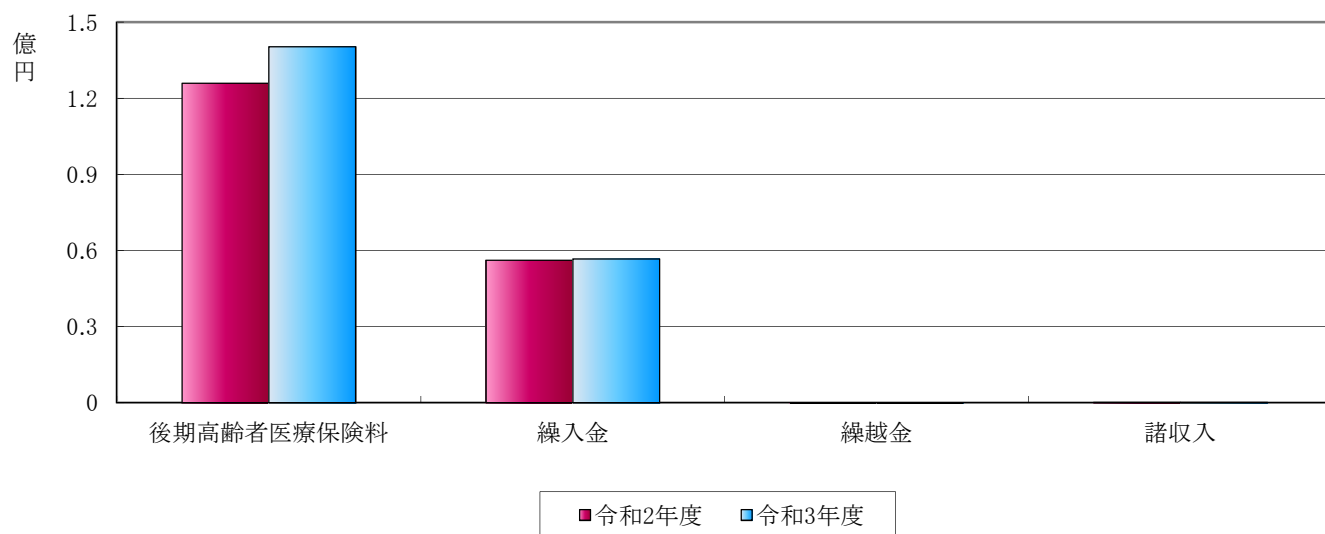
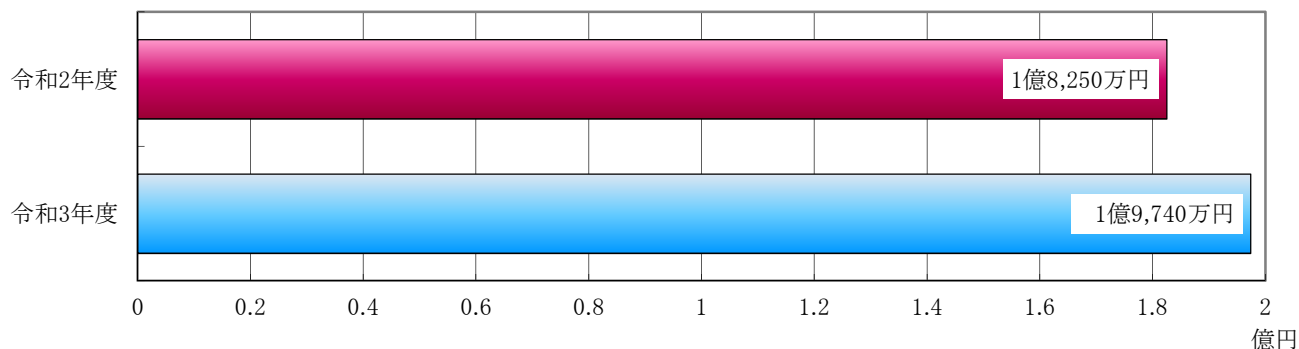
特別会計予算は、制度の運営に要する保険料や医療給付費等に関わるもので、ほとんどが広域連合への納付金となっています。

歳入予算の保険料1億4,039万円は、令和2年度の保険料額、被保険者数及び軽減額等の状況から推計した額となっており、前年度と比較すると1,437万円の増額となっています。

歳出予算は、広域連合納付金が1億9,311万円で、歳出の約97%を占めています。

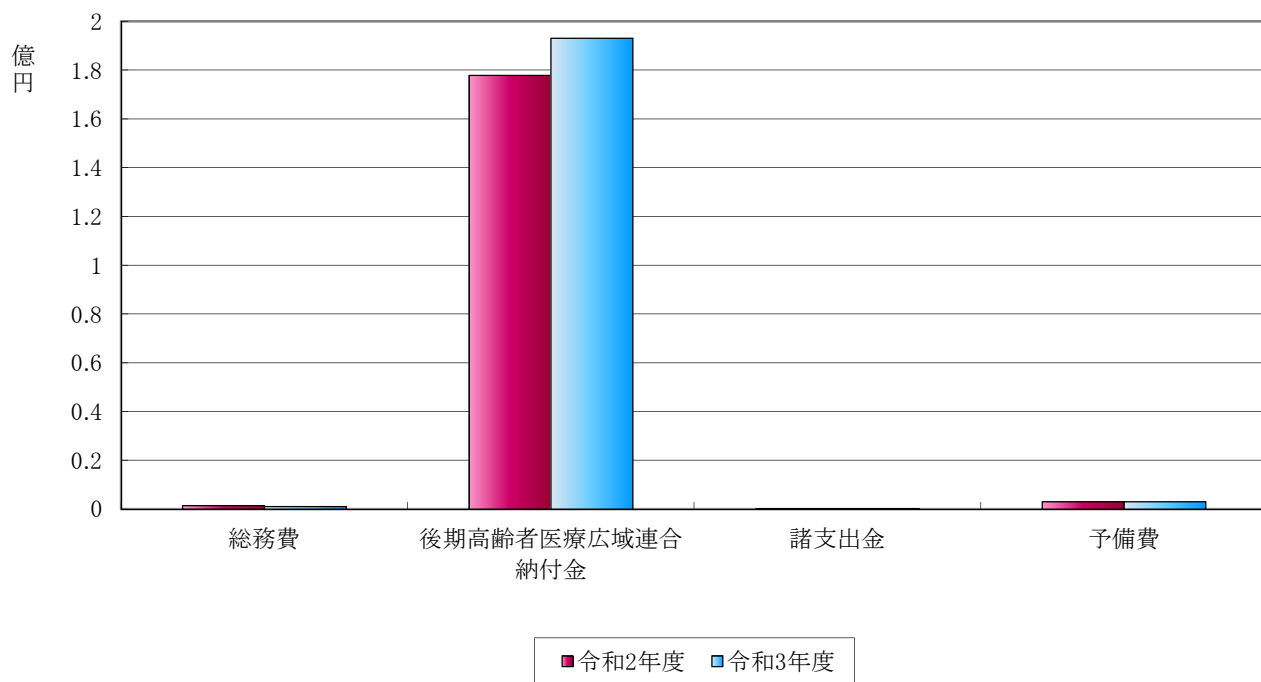
### 【歳入】

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	構 成 比		伸 率
				3年度	2年度	
後期高齢者医療保険料	1億4,039万円	1億2,602万円	1,437万円	71.1%	69.1%	10.2%
繰入金	5,678万円	5,625万円	53万円	28.8%	30.8%	0.9%
繰越金	1万円	1万円	0万円	0.0%	0.0%	0.0%
諸収入	22万円	22万円	0万円	0.1%	0.1%	0.0%
合 計	1億9,740万円	1億8,250万円	1,490万円	100.0%	100.0%	7.5%



【 歳 出 】

区 分	令和3年度	令和2年度	比 較	構 成 比		伸 率
				3年度	2年度	
総 務 費	108万円	145万円	△37万円	0.6%	0.8%	△ 34.3%
後期高齢者医療広域連合納付金	1億9,311万円	1億7,784万円	1,527万円	97.8%	97.5%	7.9%
諸 支 出 金	21万円	21万円	0万円	0.1%	0.1%	0.0%
予 備 費	300万円	300万円	0万円	1.5%	1.6%	0.0%
合 計	1億9,740万円	1億8,250万円	1,490万円	100.0%	100.0%	7.5%



## ○ 町立別海病院事業会計 当初予算の概要について

令和3年度町立別海病院事業会計について、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として強くありますが、包括ケア病床の定着等により収益的収入は前年度当初予算と比較して合計で7,795万円(3.7%)の増額を見込んでいます。

収益的支出は前年度当初予算と比較して合計で6,074万円(2.5%)の増額を見込んでおり、給与費や経費の増額が主な要因となっています。

また、資本的支出は、前年度当初予算と比較して3億9,613万円(60.7%)の減額しており、今年度はMRI検査棟外構工事や医療機器の更新整備等を実施する予定となっています。

本年度の施設整備事業及び借入金元金返済に対する財源は、8,993万円の不足となる見込ですが、内部自己資金での補てんとします。

病床利用率は72.2%と昨年度比で2.7ポイントの増加としていますが、新型コロナウイルス感染症の影響も見られ外来は減少しており、経営状態は厳しい状況です。

新たに導入される医療機器を活用し、今後も地域に根ざす一次医療機関として町民の皆様の健康と命を守り続けるため、『地域の病院として、心のかもった医療で住民の皆様の健康を支援します』の理念の下、効率的な運営による健全経営に努めていきます。

### <収益的収入及び支出>

	款	項	令和3年度	令和2年度	比較	伸率
収入	病院事業収入	医業収益	13億6,319万円	13億1,925万円	4,394万円	3.3%
		医業外収益	8億4,673万円	8億1,272万円	3,401万円	4.2%
		特別利益	1万円	1万円	0万円	0.0%
	合計		22億0,993万円	21億3,198万円	7,795万円	3.7%
支出	病院事業費用	医業費用	23億7,913万円	23億1,842万円	6,071万円	2.6%
		医業外費用	1億0,070万円	1億0,067万円	3万円	0.0%
		特別損失	1万円	1万円	0万円	0.0%
		予備費	500万円	500万円	0万円	0.0%
	合計		24億8,484万円	24億2,410万円	6,074万円	2.5%
			△2億7,491万円	△2億9,212万円		

### <資本的収入及び支出>

	款	項	令和3年度	令和2年度	比較	伸率
収入	資本的収入	企業債	5,430万円	3億0,520万円	△2億5,090万円	△ 82.2%
		出資金	9,455万円	9,208万円	247万円	2.7%
		補助金	1,750万円	1億6,630万円	△1億4,880万円	△ 89.5%
	合計		1億6,635万円	5億6,358万円	△3億9,723万円	△ 70.5%
支出	資本的支出	建設改良費	8,786万円	4億8,210万円	△3億9,424万円	△ 81.8%
		企業債償還金	1億6,842万円	1億7,031万円	△189万円	△ 1.1%
	合計		2億5,628万円	6億5,241万円	△3億9,613万円	△ 60.7%
			△8,993万円	△8,883万円		

## ○ 水道事業会計 当初予算の概要について

令和3年度水道事業会計当初予算について、収益的収入では前年度当初予算と比較して合計で2,437万円の増額を見込んでおり、これは、給水収益や長期前受金戻入に伴う収益の増が主な要因となっています。

収益的支出では前年度当初予算と比較して合計で3,901万円の増額を見込んでおり、減価償却費が増となることが主な要因です。

資本的収入及び支出では、国営環境保全型かんがい排水事業(別海北部地区)の共同事業負担金が令和5年度まで毎年発生するほか、農業水路等長寿命化事業による薬品注入設備等の更新に伴い、資本的収入は、企業債収入などで840万円の減額となり、資本的支出は、国と一般会計に対する工事負担金などで2,421万円の増額となります。

今年度も事務・事業の改善、効率的な施設の維持・更新等を行い、健全な水道事業経営に努めます。

### <収益的収入及び支出>

	款	項	令和3年度	令和2年度	比較	伸率
収入	水道事業収益	営業収益	7億0,530万円	6億9,990万円	540万円	0.8%
		営業外収益	3億6,063万円	3億4,166万円	1,897万円	5.3%
	合計		10億6,593万円	10億4,156万円	2,437万円	2.3%
支出	水道事業費用	営業費用	8億1,618万円	7億6,975万円	4,643万円	5.7%
		営業外費用	3,640万円	4,382万円	△742万円	△20.4%
		予備費	500万円	500万円	0万円	0.0%
	合計		8億5,758万円	8億1,857万円	3,901万円	4.5%
			2億0,835万円	2億2,299万円		

### <資本的収入及び支出>

	款	項	令和3年度	令和2年度	比較	伸率
収入	資本的収入	企業債	1億7,160万円	1億8,580万円	△1,420万円	△8.3%
		工事負担金	1,425万円	845万円	580万円	40.7%
	合計		1億8,585万円	1億9,425万円	△840万円	△4.5%
支出	資本的支出	建設改良費	3億8,800万円	3億6,458万円	2,342万円	6.0%
		企業債償還金	2億1,434万円	2億1,355万円	79万円	0.4%
		予備費	500万円	500万円	0万円	0.0%
	合計		6億0,734万円	5億8,313万円	2,421万円	4.0%
			△4億2,149万円	△3億8,888万円		

### 用語解説

収益的収入	・・・	経営活動によって生じる収入
収益的支出	・・・	経営活動に要する費用
資本的収入	・・・	建設改良等に伴う企業債、補助金等の収入
資本的支出	・・・	建設改良等に要する費用及び借入金の元金償還